

相談日のお知らせ

～ほっとテラス～

悩みや心配ごとで不安な毎日を過ごしていませんか？心の声を精神科医が聴いてくれます。相談希望の方は事前に予約をお願いします。

（場所）中津市教育福祉センター （日時）奇数月第2水曜日 14時～16時まで

～心配ごと相談～

三光地区の民生・児童委員さんが色々な心配ごとの相談に応じます。お一人で悩まず相談してみませんか？※当日は行政相談員により行政相談も併せて行なっています。

（場所）三光公民館

（日時）10月2日（金）、11月6日（金）、12月4日（金） 10時～12時まで

～子ども・子育て相談～

子育てや子どもに関するお悩みなど、児童厚生員が相談をお聴きします。電話相談でもお受けします。

（場所）三光福祉保健センター （日時）毎週月曜日 10時～12時

（電話）43-5194

【ご予約・お問い合わせ先】中津市社会福祉協議会（三光）

電話：43-5390 （担当：高藤）

社協よりご案内

中津市地域包括支援センター社協 （高齢者相談支援センター） サテライト事務所の設置について

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、令和2年8月1日から当面の間、下記の通りサテライト事務所を設置することになりました。職員4名が勤務し、三光・本耶馬溪エリアを主に担当します。介護や福祉などご相談がある方は、ご連絡をお願いいたします。



【職員名】

左から
竹中
江口
田中
小野

場 所：中津市本耶馬溪町折元1247番地

電話番号：26-8833

Fax番号：53-2253



三光福祉保健センター（社協三光） 改修工事について

三光福祉保健センター（社協三光）は三光公民館と複合施設となるため、9月より改修工事に入っています。今後、工事の過程で地域の皆さまにご迷惑をおかけしますが、完成する日を楽しみお待ち下さい。

工事期間中は社協三光の各事業所（社協事務所、三光児童館、デイサービス、認定調査室）は通常通り営業しておりますのでこれまで同様お気軽にお立ち寄りください。



地域が元気になる地域福祉情報紙

とんぼのめ

発行元）

社会福祉法人 中津市社会福祉協議会
地域福祉課 三光地域福祉推進係
（中津市三光福祉保健センター内）

TEL 0979-43-5390 fax 0979-43-2594

第70号 とんぼ絵協力：はしもと まさこ
2020年9月15日発行

中津市社会福祉協議会会費 ご協力ありがとうございました！！

今年度も自治委員、班長の皆さまご協力のもと地域の皆さまから「中津市社会福祉協議会会費」を頂きました。ありがとうございました。

社協会費は、地域の福祉活動を行う上で貴重な財源となっております。三光地区で集められた社協会費は、住民同士の支え合いの取り組みを進めていくため、またサロン活動など地域福祉活動の助成として大切に使用させていただきます。この地域福祉情報紙「とんぼのめ」も社協会費を財源とし「地域が元気になる情報紙」を目標に発行を続けていきます。

令和2年度社協会費（三光地区）1,503,000円



三光地区
サロン活動



令和元年
地域福祉講座

とんぼのめ発行 （年五回程度）



元気です！いきいきサロン♪

6月に諫山サロンが再開し、7月～8月にかけては全5カ所のいきいきサロンが再開しています。再開するにあたり、各サロンのお世話役さんは消毒液やマスク、体温計などの備えをするなどしています。サロンの間はエアコンを入れつつ換気も行い、コロナ対策だけではなく熱中症予防にも気を付けていました。「再開に不安もあったけど、来てくれた人の笑い声が聞けて良かった」という声も聞かれました。コロナ禍の中でも、地区ごとに合った形で地域のつながりが進んで行っています。



夏のボランティア体験月間 初めてのボランティア♪



今年も「夏のボランティア体験月間」が実施されました。三光児童館にもたくさんのボランティアさんが来てくれ、子どもたちと元気いっぱい遊んでくれました。活動に参加してくれた西稜地区の原田さんにインタビューしました♪

原田 敏希さん（中津東高2年）

活動日：7/21（火）
活動先：三光児童館



将来に向けて社会を見ておきたい思い、夏ボラに参加しました。今まで子どもと関わる機会が少なかったので不安もありましたが、赤ちゃんや子どもとふれあえて、楽しかったです。今回の夏ボラで経験したことはこれからの将来に役立つと思います。

日田市天ヶ瀬災害ボランティア～One for all, All for one～

7月上旬、九州北部を中心とした豪雨災害でお隣の市「日田市」は筑後川が氾濫するなど甚大な被害が発生しました。そんな日田市を支援するため、中津市社会福祉協議会がボランティアバスを運行しました。7/17（金）から7/30（木）の期間中9日間運行し、延べ124名の方が参加してくださいました。三光から参加された2名の方の活動をご紹介します！

相良 卓紀さん・寿美さんご夫妻

活動日：7/21（火）
活動内容：家具や畳の搬出、泥掻き、割れたガラスの撤去



相良卓紀さん（三光佐知）

最初はどこから手を付けていいのかわからない状態でしたが、参加者16名が力を合わせ予定した作業を無事に終わることが出来ました。炎天下とコロナ禍の中、十分な休憩を取りながら参加者全員が心をつにして作業を行った結果、来た時は我々で片付けることが出来るだろうと思っていた各部屋を片付けることができました。正にOne for all, All for oneでした。

相良 寿美さん（三光佐知）

「災害ボランティアに行こうか？」突然の夫からの誘いに「えっ、無理」と思いました。しかし、私にもできる事があればと、思い切って参加しました。濁流が窓から一気に押し寄せ床一面に散乱したガラスを一片一片拾いました。楽しい生活が一瞬にしてこんなになってしまうのかと、あらためて災害の恐ろしさを感じ、作業をしながら涙が出ました。ボランティアに参加し、困っている人を救えるのは必ずしも大きな力だけではない、小さな力でもたくさん集まれば大きな力になると感じました。